

とらやまの森

<http://www.kyushu/env.go.jp/twcc/>



開所二十周年にあたって

対馬野生生物保護センター（通称ヤマネコセンター）は、平成九年七月三十一日に開所式を行い、本年度開所二十周年を迎えました。この節目の年を迎えられたのはひとえにツシマヤマネコの保全に熱い思いを持った方々や地域の皆さまのご支援・ご協力のおかげでございます。

この二十年の間にツシマヤマネコの保護行政は様々な進展がありました。平成十二年には飼育下の個体での繁殖の成功、平成十五年にはヤマネコセンターで飼育するヤマネコの公開の開始、平成二十六年には内山地区にツシマヤマネコ野生順化ステーションの整備等、限られた紙面では書ききれないほどの出来事がありました。また最近ではツシマウラボシシジミの保護増殖事業や特定外来生物のツマアカスズメバチの対応など、業務の幅もますます広がっており、当初四名のスタッフで開所したヤマネコセンターも現在では野生順化ステーションと合わせて十七名ものスタッフを抱える大所帯に成長しました。次の十年はヤマネコセンターを訪れた方や地域の方々「ヤマネコセンターがあつて良かった」と実感頂けるような施設を目指し、開所三十年を見据えて運営していきたいと思っております。

環境省対馬自然保護官事務所

首席自然保護官

佐藤大樹

とらやま祭り開催！

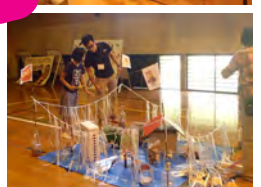
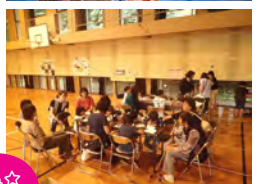
ツシマヤマネコの別名である「とらやま」にちなんで、10月8日は「ツシマヤマネコの日」とされています。

そこで、対馬野生生物保護センターでは10月7・8日に『とらやま祭り』を旧佐護小中学校体育館にて開催しました。

今年度はヤマネコセンター開所20周年ということもあり、盛り沢山な内容になりました。ご来場された皆様の楽しそうな声を聞いて、つばきちゃんがお友達の「ろくべえくん」と「たまひめちゃん」を連れて遊びに来てくれましたよ♪

お越し頂いた皆様、本当にありがとうございました！！

ヤマネコセンターにも 遊びに来てね☆



開館時間と休館日のお知らせ

【開館時間】10時～16時30分（入館は16時まで）

【休館日】月曜日（月曜日が祝祭日の場合は開館、翌日火曜日に休館）、年末年始（12月29日～1月3日）

【12月】18、25、29～31日、【1月】1～3、9、15、22、29日、【2月】5、13、19、26日、【3月】5、12日は休館日です。

対馬の環 News



動物愛護週間イベント!

九月十六日、豊玉町仁位のパールドームにてわんにゃんフェスティバルを開催し、沢山の方にお越し頂きました。動物愛護絵画コンクール表彰式やふれあい動物園、刈刈馬の乗馬体験のほか、動物愛護にまつわるクイズに答えるスタンプラリーが行われました。

このイベントをきっかけに、ペットは責任をもって最後まできちんと飼うというルールがあることを知ってもらい、動物愛護の輪が広がってほしいと思います。



名前が決まりました!

福岡市動物園で生まれたメスは、対馬で沢山の縁が結ばれて誕生したことから、これからのヤマネコの未来を結んでいくってほしいとの願いから「結(ゆい)」。

京都市動物園で生まれたオスは、勇ましい顔つきなので「勇」に、父親のキイチから「キ(希)」をもらって「勇希(ゆうき)」。メスは優しい顔つきなので「優」に、母親のめいから「め(芽)」をもらって「優芽(ゆめ)」。

三頭とも素敵な名前ですね!



京都市動物園提供



福岡市動物園提供

カワウソ、対馬で見つかる!

八月十七日、琉球大学の伊澤教授より「国内では三十八年ぶりとなるカワウソが対馬で見られた」と発表されました。この発表の様子は大きく報道されたのでご覧になった方が多いと思います。この発表の時には、ヤマネコセンターもたくさんの方からお問い合わせを受け、対応に大忙しでした。

この発見を受けて環境省は対馬全島に渡るカワウソの生息調査を実施し、地面の上に残されたカワウソの足跡や糞を確認することができました。糞は韓国やサハラに生息するユーラシアカワウソと近縁であるカワウソのものでした。

対馬の河川や海岸にはカワウソが暮らしており、カワウソがいる環境は、対馬が日本で唯一の場所です。そしてカワウソが安心して生息するためには河川や海岸の環境保全がとても重要です。対馬で暮らす私たちも水の無駄遣いをしない、ゴミのポイ捨てをしない、河川や海岸の美化に努めるといった身近なことから河川や海岸の環境に配慮してカワウソにも優しい暮らしが出来たらと思います。

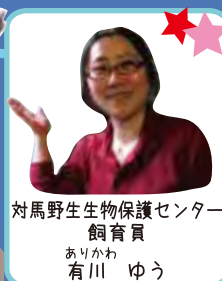


よこはま動物園
ズーラシア提供

職員日誌(23) 体験イベント開催!

こんにちは、私はヤマネコセンターにいるヤマネコの飼育員です。ヤマネコセンターではこの夏、小中学生を対象にヤマネコの調査体験と飼育体験のイベントを行い、私は飼育体験を担当しました。この飼育体験イベントでは普段見ることのできないバックヤードに入って、野生復帰訓練施設のカメラ操作や、ヤマネコの餌となるネズミのお世話、そしてヤマネコセンターの展示アイドル☆福馬くんにも扉越しに餌やりをしてもらいました。参加した子どもたちは、福馬くんの力強さにびっくり!いつもより近い距離でヤマネコと触れ合えて「楽しかった!」と最高の感想を頂きました。

このような体験イベントを通して、ヤマネコセンターをもっと身近に感じてほしい、ちょっとだけ自然や野生動物を守ることに興味を持ってもらえたらと思います。



対馬野生生物保護センター
飼育員
ありかわ
有川 ゆう



いつもとは違う角度から
福馬の部屋をしてみる



ネズミのお世話

福馬と大接近!

センター用語

野生復帰訓練施設…自分で餌を探し、しっかり捕って食べられるよう訓練をして、野生でもちゃんと生きていけるかを確認する非公開施設。

やまねこ News



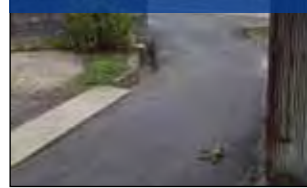
秋～冬は交通事故に注意！

秋から冬にかけては、子ヤマネコが独り立ちをし、オスはメスを求めて行動範囲を広げ、活発に行動するため、交通事故に遭うヤマネコも増える傾向にあります。そして、この秋に親離れしたと思われる亜成獣の交通事故が十月三十一日上県町佐須奈、十一月八日上県町佐護、十一月十六日に峰町三根と相次いで発生しています。

ヤマネコセンターではヤマネコの交通事故が増えないように「交通事故防止キャンペーン」に参加したり、皆様から頂いたヤマネコ目撃情報をもとにのぼり旗(寄贈・株式会社早田組様)や看板(寄贈・小宮建設様)の設置を行っています。

十月下旬から「上県町檉滝」「豊玉町仁位くさくさ」「美津島町濃部」の道路上でヤマネコが目撃されています！目撃された場所はいずれも過去の事故現場に近く、今後の事故が心配されます。皆様からの情報で事故に遭う前にヤマネコの命を守る事ができるかもしれません！お気軽に情報提供ください。

住宅地でも事故発生！



秋のキャンペーン



一本の電話が救護に繋がる！

八月二十一日、三根の道路でつづくまるヤマネコを見た」と電話を頂き、自動撮影カメラを設置して付近を調べたところ、足を引きずって歩くヤマネコを確認しました。徐々に捕獲器に慣れさせて、九月二十六日ようやく保護できました。発見された方からは「峰町の三根と佐賀の間に行ったオスのヤマネコ」ということにちなみ、「みさお」という愛称を付けて頂きました。骨盤骨折をしていましたが、今後の様子をみながら野生復帰を目指しています。



早く森に帰れますように

ポスター展☆入選者発表

平成二十九年度ツシマヤマネコ交通安全ポスター展は応募作品が過去最多の二百一作品！入選者(小学生の部)▼最優秀賞▼濱田龍星さん(久田小一年)▼優秀賞○小学生の部▼里津寛人さん(久田小五年)○中学生の部▼以南祐希さん(東部中二年)▼一般の部▼最優秀賞▼原口久美さん(峰町)▼優秀賞▼田中こずえさん(豊玉町)他、計十三作品。

今後、応募頂いた全作品を島内で巡回展示します。作品のメッセージが多への方に届いてヤマネコの交通事故が少なくなりますように！



ポスター展入選者

下島だより⑮ ～つばきちゃん、今里小学校運動会に現る！～

9月24日、今里小学校運動会につばきちゃんと一緒に参加してきました。「開会式」からみなさんと一緒にラジオ体操をしたり、「夢の対馬音頭」では大きな輪になって踊ったり、「地区対抗綱引き」では白熱した戦いを繰り広げることができました。他にもたくさんのプログラムに参加し、「一本いかが？」という競技では、つばきちゃんの代わりにステーション職員がコーラを豪快に一気に飲みする姿も見られました。

スローガン『もやせ!!今里だましい めざせ!!心の一等賞』のように、子どもから大人まで参加されたみなさんの一生懸命な姿はまさに一等賞でした！これからもつばきちゃんを見かけられましたら、ぜひ声をかけてあげてください♪



敵原事務室
アクティブレンジャー
たけだ たつり
武田 竜典

第26回ヤマネコ・クイズ！

つばきちゃんのヤマネコのお友だちは何頭いるでしょう??

答えはウラをみてね！⇒

対馬にいる生き物をご紹介します！

第3回 対州馬 学名: *Equus caballus*

対州馬は日本に8種類いる在来馬のうちの1種です。対馬では昔から荷物の運搬や農耕のために対州馬を飼育されましたが、自動車や農業機械の大型化により飼育頭数が減少し、現在は3の頭ほどしか対馬にいません。文化や技術の進展により、人間と馬の関わりは大きく変化し、近年ではホースセラピーとして日本在来馬も全国各地で活躍しています。



対州馬の首筋を搔いてあげると、口先を伸ばして、気持ちよさそうに寄り添ってくれます。特に、この口先の柔らかい部分がたまりません。(触るときは噛まれないよう気を付けて下さいね)

対馬で対州馬に会えるのはココ！
目保呂ダム馬事公園
あそびペイパーク



ぜひ皆様も対州馬たちに会いに行ってみてください！！
その愛らしい姿に癒やされること間違いなしです☆

今回の対馬のあの人この人は…

No. 15 対馬南地区交通安全協会

事務局長 小松 津代志 さん



小松さん
ありがとうございます
ございました！



1. どのようなお仕事をされていますか？

地域から1件でも事故をなくして、明るく住みやすい地域を作りましょう！という理念のもと交通安全業務（運転免許更新講習の開催（受託）、年4回の交通安全運動期間中のキャンペーンや街頭指導（安全誘導）など）を行っています。

2. これまでのヤマネコとの関わりは？

長崎県が行っているヤマネコ調査に調査員として9年間関わりました。平成19年に下島で23年ぶりに自動撮影カメラにヤマネコが写りましたが、あれは私ともう1名の調査員が回収したカメラに写ったものです。ヤマネコが写っていたと聞いたときはとても嬉しかったです。

調査員をやる前は陸上自衛隊に勤めており、対馬警備隊のことを「ツシマヤマネコ軍団」と名付けたのも私です。対馬の森を守る山の王者「ツシマヤマネコ」にあやかりました。



交通安全キャンペーンにはヤマネコのつばきちゃんも参加しております★



対馬南地区交通安全協会
住所：厳原町中村 633 対馬南警察署内 TEL:0920-52-5541
★免許更新の際はぜひ会員になってください！★

3. 対馬の魅力は？

歴史と希少な生物だと思っています。ヤマネコを初めて見たときは感動しました。森の中では砲台跡も見ることができますが、これも後世へ残していくべきだと思っています。

ツシマヤマネコへメッセージ！

人も大切、ヤマネコも大切。人の交通事故だけでなく、ヤマネコの交通事故も減って欲しいと思います。

編集後記

冬は食べものが美味しく、つつい食べ過ぎてしまいますね。来年も皆様とヤマネコにとって良い年になりますように♪



今日の一枚
『夏季実習』
毎年、ヤマネコセンターでは夏季実習を行っており、今年度も全国から六名の学生が参加してくれました。ヤマネコの保護活動以外にも地域の方々との交流など様々なプログラムを通して、野生生物保護についてこれまでとは違った印象や刺激を受けたのではないのでしょうか？今後みんなが学生が参加してくれるのが楽しみです！

第26回ヤマネコ・クイズの答え！

たまひめちゃん、ろくべえくん、さくらちゃん、しまひこくんの4頭です。
対馬やヤマネコのPRで活躍しています!!応援してね☆

★「とらやまの森」の記事を引用される際には、出典が「とらやまの森」であることを明記して下さい。